



令和6年の新春を心からお慶び申し上げます。

市長就任から8か月が過ぎて感じていることは？

■市長就任から8か月が過ぎ

…昨年の5月1日から東大和市は和地市長をトップとして動き出し、就任から8か月が過ぎ、新春を迎えた今、和地市長はどう感じられているのでしょうか。また、新年を迎えた今、4月から始まる新年度に向けての抱負について、後援会長が伺ってみました。

■市民の皆様の集う場へ足を運ぶ大切さ

「5月の市長就任から半年以上が過ぎました。市長が発信しているX(旧Twitter)を見ても、毎日、精力的に動いておられ、かなりご多忙なご様子ですが、大丈夫ですか？」



…確かに多忙と言えば多忙ですね(笑)。

しかし、市長になると多忙になることは分かっていたから、驚きはないですし、気力体力ともに充実しています。週末や夜などには、様々な団体等の総会、会議等にお声がけをいただいたり、地域のお祭り等にもお誘いをいただきましたが、嬉しいことです。市民の皆様と顔を合わせ、同じ場で同じ時間を過ごせることは大切なことだと思っています。このような場で、わざわざ「ご意見はありますか？」と聞くようなことはないですが、気軽な雰囲気の中で、市民の皆様の方からお声がけくださり、お話やご意見を伺うことが出来ています。そういう所で頂戴した市民の皆様の声を会議の中で市の幹部に伝えたり、自身の判断のヒントとさせていただくこともたくさんありました。私はどちらかと言えば現場主義なので、お声がけをいただいた場合は、可能な限り出席させていただくようにしています。もちろん、身体は1つですので、予定が重なってしまったりする際は、遅参や中座となってしまうことや、代理や欠席となることもあります。市民の皆様の集う場に足を運ぶことで得られることはたくさんあると思っています。

■課題に向き合い、改めて身を引き締め

「市長は市議会議員として約12年間、市政に関わっていらっしゃいましたが、市長となられて改めて感じている事などはございますか？」

…財政の厳しさや課題については、市議会議員の時にも分かっていたのですが、実際に市長として様々なことの詳細を知り、解決しなければならないことの大きさ、厳しさを感じているところです。



コロナ禍、そして世界情勢等の影響による円安や物価高など、環境の大きな変化もあり、正直、厳しさは増している状況です。例えば公共施設の老朽化対策については、最近、多摩地域の自治体でも新しく施設を建て替えているニュースを目にされている方も多いと思います。

しかし公共施設は、建設(建て替え)を決定してから、竣工まで5年～10年ほどかかるのが一般的と言われています。ということは、最近、出来上がった他市の新しい公共施設については、コロナ禍前の決定案件です。その頃と比較すると、現在は建設コストも大きく上がっていますが、時を戻すことはできません。東大和市も、その時々で現実的な判断を下した中で、市政運営を安定的に行ってきたので、私としては、今現在と、この先を見据えた最善の方法や計画を作ったうえで公共施設の老朽化対策を行うことが重要だと思っています。

一方、このような課題は東大和市に限ったことではないため、世の中には様々な新しい手法や考え方も生まれています。民間企業などと協力していく方法や、公共施設のあり方をコミュニティや学校教育とリンクさせて考えていく方法、そしてコロナ禍によって、一気に進んだデジタル化を前提に施設を整えるなど、今から計画を作るからこそそのメリットもあります。もちろん、市民の安全のために、公共施設の老朽化対策は“待ったなし”ですが、様々な情報を集め、時代にあったより良い方法とすべく、改めてしっかり考えることが必要です。

(最終面に続く)

最近の市政のトピックについて 和地市長に聞いてみました…

■新年度（令和6年度）の予算編成方針は？

…毎年、新年度の予算編成については、前年度の秋に公表される市長からの予算編成方針からスタートします。来年度の予算編成方針は令和5年9月27日に公表。例年の予算編成方針の形＝文書のほかに、図表などを使用して、私自身（市長）がポイントについて語る動画も作成しました。

…令和6年度の予算編成方針の大きなテーマは

“今のありがとだけでなく、未来のありがとのために。” です。



（予算編成方針動画）

…人はとかく目の前に見えるもの、実際に耳にする声に影響されるものです。

特に、4年に1度、選挙により審判を受ける市長は、どうしても「今のありがと」を優先しがちです。行政運営は皆さまからの税金で行われるため、“今の市民”にとって良いものかどうかということが、当然、第一義になりますが、一方で、振り返ると、今、私たちが使用している公共施設、市道などの様々な公共インフラを東大和市の先人たちは私たちに残してくれたものです。

…よって、新年度の予算要求の際に、職員に考えてほしいことは「目先の課題解決が将来にどう影響するか」ということだと市長は考えたそうです。大変な財政状況だからこそ、長期的に有効となることに活用しなければ、自転車操業のような状態は改善できないとも市長は言っています。

…また、そのほか市長が予算編成において、職員に伝えたポイントは以下の2点です。

“まちづくりは人づくりから。”

“今までと同じ仕事に疑問を持つ。”

時代や環境が変化しているのに同じ内容で良いのか。”

…和地市長が初めて編成する予算の内容はどのようなものか。3月の市議会定例会中に開催される予算特別委員会で市議会議員の皆さんからの賛同いただいたうえで、来年度予算は決定します。

■狭山緑地内にキッチンカーを試験的に出店されたようですが…

…多摩湖は東大和市を代表する風光明媚なスポットです。お天気の良い日は、多くの方が周遊道路などでサイクリングやウォーキングで楽しむ姿を目にします。

一方で、市議会議員時代から「多摩湖で気楽に飲食ができるスポットがあれば良いのに…」という多くの声をいただいていたが、多摩湖周辺は、東京都水道局が管理しているところが大半を占めています。そこで、去年の12月の週末に、試行として市の駐車場の一部にキッチンカーに出店していただきました。最初は、不安もありましたが、幸い、あたたかな日が多く、予想以上にご好評をいただき、「こういう取り組みはうれしい!」、「紅葉を見ながらの狭山緑地でのランチは気持ちが良い」など、うれしい声を頂戴することができました。

…この取り組みには、お金はまったくかかりません。また、市政全般から見れば、ちょっとしたスパイスのようなものかもしれませんが、市民の皆様が「東大和市ってイイね!!」と感じられるものではないかと思えます。今後も、職員とともに様々な工夫をして、市民の皆様の地元愛が高まり、東大和市に行きたい、住みたいという人が増えるようなことに取り組んでいきたいと思っています。

期間限定
狭山緑地にキッチンカーがやってくる!?
12月9日(土)
【営業時間】11:00～14:00
【営業場所】フィールドアスレチック駐車場

散策の休憩に、アスレチックで遊んだ後に、お一ついかがでしょうか?
是非、ご賞味ください!

キーマカレー ¥500
キーマうどん

狭山緑地
東大和市の北側に広がる緑地です。緑地内にはフィールドアスレチックや散策コースなどがあります。

※緑地内にゴミ箱はありません。お持ち帰りいただき、お帰りにご協力をお願いします。

※出店場所

■未来の街を子どもたちが考えるイベントについて教えてください

…昨年は、「チルドレンファースト」の社会を創出する東京都の取組“こどもスマイルムーブメント”に東大和市も参加しました。東京都と東大和市、そして民間から株式会社久米設計が協力し、「まちを考える・つくる」体験イベント：子どもにとってわくわくするまちを考え、表現しよう！

というイベントを10月と12月に開催しました。10月は未来の東大和市全体の地図を子ども達が作成。12月のイベントでは、模型づくりや自分たちで作ったベンチを設置し、実際のまちづくり体験を通して創る楽しさやまちに関わる喜びを感じてもらいました。

「東大和市駅前」、「上北台駅前」、「多摩湖エリア」、市内3つのエリアの未来のまちを子ども達が力を合わせて作ってくれました。子ども達の作ってくれたまちには高層ビルの小学校、ロープウェイ、東大和市のシンボルタワーや遊園地、ホテル、大きな公園などが。また、「みんなのまちをベンチで変える！」ということで、子ども達が力を合わせて木製のベンチを作成。現在は市役所の中庭に置いていますが、今後は、市内の公園などに設置することを予定しています。

…子ども達はいろいろと考えて「こんな東大和市にしたい！！」とたくさん、意見を言うてくれただけでなく、「東大和市をよくするために頑張る」とも言うてくれました。未来のために、頑張ろう！と職員とともに気合を入れなおしたイベントとなりました。



■働き方改革に関する2つの宣言とは？

…市長就任後、感じていたことは“もったいない”ということでした。東大和市の職員は、真面目に仕事に向き合っていますが、残念ながらその働き方は従前のままで、能力が発揮されてないのではないかと思います。また、今後、人口減少が進む中、東大和市をより発展させていくためにはより良い人材に東大和市で働きたいと思ってもらわなければ、必要な職員が採用できない状況になってしまいます。

…そこで、内閣府や多くの自治体や民間企業の働き方改革のアドバイスを手掛けている「株式会社ワーク・ライフバランス」さんにもご協力いただき、働きたい市役所、市民のためになる市役所に向けて、様々な取り組みをスタートさせると同時に、以下の2つの宣言を行いました。

【勤務間インターバル宣言】 ※都内の自治体では初の取り組み

勤務就業から、翌日の始業までに、11時間以上の間隔を確保すること。7時間の睡眠時間と、通勤時間を含めた家庭生活を少なくとも4時間は確保して労働生産性、リフレッシュした脳と気持ちで創造性を高める仕組みで、EU(欧州連合)では義務化されており、日本でも2018年制定の“働き方改革関連法”事業所の努力義務に位置付けられている。

【女性の再就職応援宣言】

出産や育児、介護などで離職した女性が再就職につながりにくいことを改善するため、採用年齢を45歳程度まで引き上げ、面接重視の選考を行うことで女性の再就職を応援。

職員がやりがいをもって働ける職場環境を整えることで、市民サービスをさらに向上させていきます。



■何をするかも大切。誰がするかも大切。

「市長が掲げた3つの経営方針の1つに“職員のチャレンジ精神を発揮させる”方針があり、就任記者会見では“全職員と面談を行うこと”が話題となっておりましたが、実際に面談をされて“分かった”ことはございますか？」

…東大和市には正職員が461名いますが、面談は職責の高い部長から実施して、今は入職して間もない主事の皆さんの面談を行っています。昨年年末までに全員との面談を終えたかったのですが、年末までに終了したのは約400人です。面談開始前は「職員の皆さんの考え等、色々話してくれるかな？」と、少し心配していましたが、そんな心配は不要でした。面接時間のだいたい80%ぐらい、皆さんが考えやアイデア、感じている課題などについて話してくれます。この面談で職員のことを知ることができたことは、配属などの人事にも役立ちますが、何より、私が進めたいと思っている事業に対して、アイデアを持っている職員がいることも把握できました。私は東大和市をより良い市にしていきたいために、様々なことを行っていきたくと思っていますが、そのためには職員の協力は不可欠です。変なたとえになるかもしれませんが、カレーライスを作るといっても、作る人によって出来上がりが違うように、「何をするか」も大切ですが、「誰がするか」は、もっと重要かもしれません。限られた財源で、より効果を上げること。また、より費用を抑える工夫をすること。これらは、現場で動いてくれる職員にかか

っています。もちろん、指示を出す私もチェックは行いますが、実際に手を動かし汗をかく職員が同じ方向を見て、能力を上げていくことは市政全般に大きく影響すると思っています。また、市のトップである私が何を考えているのかを職員に伝えることも重要なことですので、週に1度ぐらいのペースで、職員が使用しているパソコンの中の掲示板に私が感じていること、考えていることを書いています。このような取組を通じて、市政運営を行う組織力を強化していこうと思っています。

■課題解決と共に未来につながる取組を開始 「今年の目標や抱負をお聞かせください。」

…行政は年度で動いているので、まずは今年度を滞りなく終了させることが大切です。新年度については、12月の市議会定例会で可決された組織改正を行い、新たな体制で新たな取組を進めてまいります。また、令和6年度予算は、私が方針を示して編成する初の予算となります。“急がば回れ”で、人材育成に力を入れながら、職員の能力を最大限に発揮してもらい、未来につながる第一歩となる年にしたいと思っています。今年の干支の辰年は、『陽の気が動いて万物が振動し、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年』だといわれているので東大和市を大きく成長させる1年としたいです。



～編集後記～ 後援会役員のつぶやき

◇東大和市のリーダーとなり、多忙な日々を送っている市長。後援会長との対話で理解できましたが、休む時間も必要だと思います。近所で見かけることもなくなり寂しいですが、会えない部分の穴埋めはX(旧Twitter)、J:COM 提供の無料アプリ「ど・ろーかる」などで、都知事との意見交換、女性首長によるびじょんネットワークへの参加、長つと散歩等々により、市長としての魅力をいっぱい感じています。新年を迎え、市内外、増々元気に動き、笑顔がたくさん見られる事を期待し応援していきます。(N)

◇春は待ち遠しいですが、花粉症の方には辛い時機到来です。(1年中、花粉症の方もいらっしゃると思いますが) 私は、いつも鼻マスク+マスクでダブル防御しています。症状は人それぞれですが、発症前からやっておくと少し楽かもしれません…お試しを…(K)

◆和地ひとみ後援会のご案内◆

～後援会員の皆様には、集会などのご案内をさせていただきます～

後援会へのご入会は、和地ひとみホームページ、
(<https://hitomiwachi.com/>)

または、下記 TEL にご連絡ください。



東大和市市長
和地ひとみ

■発行 和地ひとみ後援会 責任者：尾崎 潔
〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102 【TEL】 080-9303-9977

ホームページ